

出願者数及び出願倍率について

宮城県教育委員会

記者発表資料

令和8年5月29日(金)

教育庁教職員課

担当 氏家 三男

電話 022-211-3635

E-mail kyosykn@pref.miyagi.lg.jp

1 採用予定人数及び出願者数・出願倍率について

令和9年度(令和8年度実施)採用候補者選考

校種	小学校	中学校	中・高	高等学校	養護教諭	栄養教諭A	栄養教諭B	計
採用予定 人数 (昨年度)	140名程度 (地域枠、特別支援学校枠含む) (140名程度)	90名程度 (特別支援学校枠含む) (70名程度)	中学校・高等学校採用予定人数に含む (特別支援学校枠含む)	100名程度 (特別支援学校枠含む) (90名程度)	5名程度 (10名程度)	若干名 (若干名)	— (若干名)	335名程度 (310名程度)
出願者数 (昨年度)	341名 (304名)	266名 (285名)	264名 (286名)	273名 (353名)	131名 (154名)	0名 (1名)	— (12名)	1,275名 (1,395名)
出願倍率 (昨年度)	2.4倍 (2.2倍)	3.0倍 (4.1倍)	—	2.7倍 (3.9倍)	26.2倍 (15.4倍)	—	—	3.8倍 (4.5倍)

※中・高とは、中学校、高等学校の区別なく一括して採用する区分で、保健体育、音楽、美術、家庭の各教科が該当します。

※中・高の倍率については、教科の配置数が確定した段階で倍率が確定します。

※栄養教諭については、採用枠をAとBの2つに分けており、今年度はBの募集はありません。

(A：県内(仙台市立を除く)の公立学校で現に本務栄養職員として勤務している者、B：A以外の者)

2 出願状況の特徴について

(1) 出願倍率について

採用予定者人数の増加と出願者数の減少に伴い、全体の出願倍率は昨年度より0.7ポイント低下した。

(2) 校種別の出願状況について

昨年度の出願者数と比較して、小学校では37名増加し、中学校では19名減少した。小学校では大学新卒者・既卒者ともに増加したが、中学校では大学既卒者は増加したものの、これ以上に大学新卒者が減少したことが影響したものである。

また、高等学校では80名減少しており、県内の大学新卒者は昨年度と同等であったが、大学既卒者及び県外の大学新卒者が減少したことが影響したものである。

3 採用選考日程・会場

○第1次選考 令和8年7月11日(土曜日)

宮城会場 仙台二華中学校・高等学校、工業高等学校、第二工業高等学校

東京会場 東京大学駒場キャンパス

○第2次選考 令和8年8月26日(水曜日)から28日(金曜日)、

及び9月1日(火曜日)・2日(水曜日)のうち1日

実技試験9月3日(木曜日)

会場 総合教育センター